

【カーブス 第13回フードドライブ実施報告】

フードドライブ食料品 267 トンを 784 施設へ

～ 臨時休校の異例対応にフードドライブの食料品の活用も ～

「女性だけの30分フィットネス カーブス」などフィットネス施設を運営する株式会社カーブスジャパン(本社:東京都港区、代表:増本 岳)は、ご家庭にある食料品を募り、最寄りの福祉施設へお届けする活動「フードドライブ」において、約267トンの食料品を784の福祉施設にお届けしました。本年1月15日から1か月間の募集期間に、約18万5千名の方から食料品が寄せられ、3月中旬までに各店舗が、それぞれ最寄りの食料品を必要とする施設にお届けいたしました。

フードドライブは、1960年代にアメリカで始まり、現在日本でも、その活動は学校や企業、地域などで実施され定着してきています。カーブスは、日本ではまだ活動が盛んではなかった2007年に全国組織で初めて実施し、以来13回目の開催となる今年は、**全国約2000店舗でカーブス会員や地域の方々に食料品を募り**ました。**約86万人^{*1}の会員**を有するカーブスは、**地域に根差した店舗運営を活用し**、食料を必要としながら確保ができない家庭や子ども、高齢者の方々のための施設・団体に寄付し、地域社会への貢献活動に尽力しています。また、同活動を通じて、農林水産省が食品産業の環境対策として掲げる食品ロスの削減の一助となるべく活動しています。

^{*1}2019年11月末日時点:86.4万人

食料品を寄付した施設からは、お届けした食料品への感謝の言葉に加え、活動を続けていること、また、地域の皆さんに支えられていることへの感謝の言葉を頂戴しております。また、食料品をお届けした784施設のうち、児童養護施設342施設、母子生活支援施設など直接的に子どもたちに関わる施設は全体の半数以上を占めていることもあり、「突然の学校休校発表で、献立変更をするようになり、この度いただいた食料品を使って子ども達へ食事提供ができるので本当にありがとうございます」、「今年は3月に入り、小中学校が臨時休校となる中、昼食を急に作らなくてはならなくなり、厨房で対応しきれなくなっているところを、皆様からいただいた食材で乗り切れそうだと安堵しているところですよ」といったお声も多数いただきました。

地域密着のコミュニティを有するカーブスだからこそできる、「いま、私たちにできること」を、地域の皆さんと力を合わせて今後も取り組んでいきたいと思っております。

【第13回カーブスフードドライブ活動実績】

- 実施店舗 : 全国のカーブス店舗 約2,000店舗 (2019年10月オープン店舗まで)
- 活動時期 : <1/15~2/15>食料品受付、<2/15~3月中旬>各店から最寄り施設へ食料品の進呈
- 参加者数 : 全国約18万5千人
- 進呈先 : 全国784の施設・団体 (児童養護施設、母子生活支援施設、社会福祉協議会など)
- 集まった食料品の量 : 約267トン (例:缶詰やレトルト食品、乾麺、調味料、お米など)

<活動の流れ>



①各店で食料品募集



②仕分け・梱包、運搬



③最寄り施設へお届け

カーブス フードドライブの活動推移



お届けした施設・団体からのお礼状(一部を抜粋してご紹介)

毎年、たくさんの食品をお届けいただき、大変ありがたく感謝致しております。
今年3月に入り小中学校が臨時休校となる中、昼食を急に作らなくてはならなくなり、厨房で対応しきれなくなっているところを、皆様からいただいた食材で乗り切れそうだと安堵しているところです。
普段はあまり調理をしない職員も、いただいた乾麺やスパゲティ、レトルト食品等で昼食づくりをしています。
また、例年通り、卒園して自活している子どもたちへ送ったり、久しぶりに顔を見に食品を届けたりと、皆様からの食品が卒園生とのつながりを保つ材料になっていたりもします。
皆様のご厚意を有効に活用させていただいております。今後とも宜しくお願い致します。

児童養護施設

毎年、この日をとても楽しみにしております。この施設は働く少年たちのホームです。親と暮らせず、自分で貯めたお金で10代でアパートを借りながら仕事に通っています。正社員の子は少ない為、給料も多くありません。彼らに食料品を送るととても喜んでくれます。皆の中で「カーブス」という言葉は、それだけで通じる言葉になっております。ご飯がたくさん食べられる事はとても幸せな事だと思っております。感謝しきれません。また、普段、自分たちが買い物に行くと同じような物ばかり買ってしまいましたが、いただいたものの中には珍しいもの、普段選ばないようなものも入っており、今から食べたり飲んだりするのが楽しみで仕方ありません。多くの人の力でカーブスが成り立っていることを感じます。お一人お一人のお気持ちなんだと実感いたします。ありがとうございます。私たちは傷ついた少年たちが立派な社会人になれるよう寄り添いながら時を重ねていきます。頑張ります。

自立援助ホーム

会員の皆様、いつも福祉施設等に対するご支援を頂いており、感謝申し上げます。国内カーブス様の地域貢献、社会貢献という目的に、会員皆さまが心を寄せてくださっているそのものが、とても嬉しく、そして大切なつながりとなっていることに、改めて幸せを感じております。
今回は、合計6店舗の会員の方からのお気持ちを素敵な女性スタッフの皆様が届けて下さいました。さすが、スタッフの方はスタイルがよく、若々しく、はつらつとしていらっしゃいます。きっと会員の皆様もそんなスタッフの皆様によって、健康を得ていらっしゃるのだらうと思うのです。心と体が健康であること・・・このことは日頃、子ども達の支援をしていて、とても大切なことだと実感しています。
皆様が届けてくださったお志を、子ども達に理解できるように伝え、いただけることが、当たりまえにならず、感謝の心に繋げ、いつか今度は、その子ども達が社会に貢献できる人になってくれるようお願いながら日々の生活を応援していこうと思っています。

児童養護施設

皆さまから頂きました食材は、会の広報紙・メール等で周知し呼びかけ提供しております。来所して受け取りに来るお母さん方の笑顔に会うたびにカーブス会員の皆様への感謝の念に堪えません。
お母さんの笑顔が子ども達の笑顔に繋がります。ありがとうございます。

母子寡婦福祉会